

2023 年 3 月 7 日

# Press Release

報道関係者 各位

## 改正電子帳簿保存法（電子取引）対応<sup>※</sup>クラウド型文書管理システム 「Kyocera Cloud Information Manager」で さまざまな証憑<sup>しょうひょう</sup>を簡単、安心してデジタル管理

※ 電子帳簿保存法（電子取引）に対応。公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会（JIIMA）「（電子取引）ソフト法的要件認証制度（令和 2 年改正法令基準）」認証取得予定

京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社（社長：長井 孝）は、クラウド型文書管理システム「Kyocera Cloud Information Manager（キョウセラ クラウド インフォメーション マネージャー）」を、本日 3 月 7 日より発売します。

「Kyocera Cloud Information Manager」は、メールやファクス、紙などで受け取った証憑をクラウドストレージに保存、管理する文書管理システムです。クラウド型であるためメンテナンスの手間が省け、IT 管理者のいない企業でも簡単に導入することができます。また、本システムは、2022 年 1 月から施行された改正電子帳簿保存法（電子取引）にも対応しています。電子的に取引された証憑を法制度に準拠して保存することができます。

導入にあたってサポートが必要な場合は、システム面では設定や操作方法をサポートするサービス<sup>※</sup>、法制度面では改正電子帳簿保存法（電子取引）についてのメール問い合わせサービス<sup>※</sup>をご用意しておりますので、安心して運用を始めいただけます。

料金は月額払い定額制のサブスクリプション方式です。導入時の初期コストの負担が少ないだけでなく、最大 3 カ月の無償利用期間も設けていますので、低コストで利用を開始することができます。

※ 別途有償メニュー

### 【特長】

- [1] すぐに始められるクラウド型
- [2] 月々 2,000 円<sup>※</sup>のサブスクリプション方式
- [3] 安心の充実した導入支援サービス
- [4] 改正電子帳簿保存法（電子取引）に対応

※ 月額基本料金 2,000 円（税別）データ保存容量 10GB まで、10GB を超過した場合 超過分 1GB 毎に 100 円/月を加算



◎ ニュースリリースは報道機関向けの発表文章であり、そこに掲載されている情報は発表日現在のものです。ご覧になった時点ではその内容が異なっている場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

商品名	発売日
Kyocera Cloud Information Manager	2023 年 3 月 7 日

## Kyocera Cloud Information Manager の主な特長

### [1] すぐに始められるクラウド型

クラウド型の文書管理システムであるため、すぐに導入することができます。また、24 時間・365 日クラウド側で安定した利用環境を提供します。サーバー型のシステムのような IT インフラの構築や管理は不要です。

### [2] 月々2,000 円\*のサブスクリプション方式

初期導入コストの負担が少ない定額制のサブスクリプション方式で、月々2,000 円（10GB まで）から運用頂けます。サービス開始から最大 3 カ月の無償利用期間も設けていますので、安心してスタートできます。

※ 月額基本料金 2,000 円（税別）データ保存容量 10GB まで、10GB を超過した場合 超過分 1GB 毎に 100 円/月を加算

### [3] 安心の充実した導入支援サービス\*

システムの導入開始に不安がある場合には、システム設定や操作方法をサポートするサービスをご用意していますので、IT 担当者のいない企業でも安心です。法制度の運用に不安がある場合には、導入開始から 3 カ月間の専門コンサルタント会社による改正電子帳簿保存法（電子取引）についてのお困りごとに応えるメール問い合わせサービスをご利用頂くことができます。

※ 別途有償メニュー

### [4] 改正電子帳簿保存法（電子取引）に対応

改正電子帳簿保存法（電子取引）のデータ保管要件である「可視性、真実性、運用ルール」に対応します。

#### ■ 可視性: 簡単文書ラベリング機能

法制度に対応するためには、「取引年月日」、「取引金額」、「取引先」の条件を組み合わせ、範囲を指定した検索ができるよう、データ保存の際にラベリングしなければなりません。「Kyocera Cloud Information Manager」は、データ保存する文書の内容を OCR 分析し、抽出したキーワードからラベルになるものをワンクリックで選ぶだけで、簡単にラベリングして保存することができます。

#### ■ 真実性: 文書アクセス管理機能

法制度に対応するには、システム上に保存したデータを「訂正削除」をできなくするか、記録が残る文書アクセス管理を設定しなければなりません。「Kyocera Cloud Information Manager」は、期間を指定して「訂正削除」ができない設定を行う機能や、訂正履歴をログとして残せる文書管理機能を搭載しております。

#### ■ 運用ルール: 法制度に対応した社内規定サンプル\*

法制度に対応するには、データ保管の運用ルールを社内規定で定める必要があります。「Kyocera Cloud Information Manager」は、法制度に対応した運用ルールの社内規定サンプルをご用意しています。このサンプルを使って簡単に社内規定を作成することができます。

※ 社内規定のサンプル提供は、改正電子帳簿保存法（電子取引）保存基本説明サービス（別途有償）への申し込みが必要です。

**■ 改正電子帳簿保存法（電子取引）の対象となるペーパーレスファクスデータの保管にも対応**

京セラ製複合機のシステム連携アプリケーション（HyPAS アプリケーション）を利用すれば、ファクスボックスに保存されたデータを自動的に「Kyocera Cloud Information Manager」へ転送します。紙に印刷することなく、クラウドに保存するペーパーレス運用が可能になり、改正電子帳簿保存法（電子取引）の要件にも対応します。